

# おえ案ですか

題字は古川名誉院長



## 気軽に参加できる「看護の日」を終えて



「カラダだけではなく、こころまで見守り、支える。それが看護の仕事です。」をテーマに 5 月 1 2 日 (土) に「看護の日」のイベントを開催しました。いろいろな方が気軽に参加できるように、血圧測定、骨密度測定、高齢者疑似体験、栄養相談、介護相談、介護用品展示の催し物を行い、多数の参加をいただきました。「どれも興味があったので。」と一通り参加していただいた方もいました。今回、参加者が多かったのは、骨密度測定でした。測定方法は、測定器の中に、右の素足を置いてもらい、測定を始めます。時間にして 3 分程度で測定値がわかり、測定値の用紙の説明を受けながら、「食事に気を付けているんだ。小魚は多めにとっている。」「よく歩いたり、運動をしているから。」など嬉しそうにお話をされている方や、「一度、測ってみたいと思っていたのでよかった。」「来年もお願いします。」などの声が聞かれました。今回、多くの方と会話する中で、常に健康に気をつけており、いろいろな所からの情報を自分に合うように取り入れている方が多く、健康への関心の高さがうかがえました。今後も七夕コンサート、クリスマスコンサート、市民公開講座など地域の皆様とふれ合う催し物を計画しております。なお、日時につきましては当院掲示板やホームページにてお知らせしますので、お気軽にご参加ください。



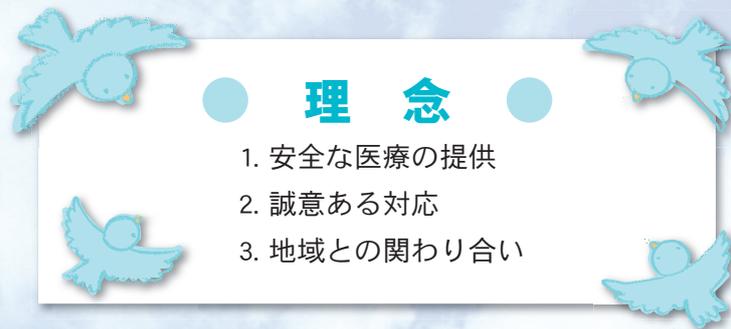
## 節電への取り組み

当院では、院内の照明を一部消灯するなど、節電に努めております。

ご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願い致します。



今般、「基本方針」、「患者様の権利と責務」を改定いたしました。



## 基本方針

1. 接遇に心がけ、心の通う患者様本位の医療を進めます。
2. 院内のチーム連携により質の高い安全な医療を進めます。
3. 地域の救急医療の中心的役割を担います。
4. 地域との連携を積極的に進めます。
5. 患者様を尊重し情報の開示と十分な説明に努めます。
6. 地域に貢献できる医療人を目指します。
7. 医療の質を確保するため病院の経営健全化に努めます。

## 患者様の権利と責務

私たちは、医療法人慈正会 丸山記念総合病院の理念に基づき患者様の意思と権利を尊重し、安全で質の高い医療の提供に努めております。患者様には以下のような権利と責務があります。

1. 個人として常にその人格を尊重される権利があります。
2. 良質な医療を平等に受ける権利があります。
3. 十分な説明を受ける権利があります。
4. 自分が受ける医療に参加して自ら決定する権利があります。
5. 自分が受けている医療について知る権利があります。
6. 診療上の個人情報やプライバシーが守られる権利があります。
7. 自身の病状や健康に関する情報は医療者に正確に伝えるようお願いします。
8. 医師の指示に従い、病院の規則を守るようお願いします。
9. 医療費を支払うようお願いします。



実は歯科口腔外科は、  
色々な疾患の治療をしています！



歯科・歯科口腔外科部長 丸山 正隆

歯科・歯科口腔外科医員 安井 光彦

当院に歯科口腔外科ができて 14 年になりますが、診療室が本館 5 階にあるためか、初診の患者様から「丸山に歯科口腔外科あったの？」という声を時々聞きます。また「病院の歯科口腔外科って何を治療しているの？」や「街の歯科医院とは何が違うの？」という声も聞きます。表 1 は、歯科衛生士専門学校での口腔外科のカリキュラムです。意外に広いと思いませんか？ 今回は、我々が普段どんな疾患を扱っているか、皆様に少しでも理解してもらえたらと思います。

表 1 口腔外科が扱う疾患

奇形・変形症	唇裂・口蓋裂、顎変形症
外傷	顎骨骨折、口腔・顔面裂傷
口腔粘膜疾患	水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑
炎症	膿瘍、蜂窩織炎
顎関節疾患	顎関節症
嚢胞性疾患	歯根嚢胞、粘液嚢胞
腫瘍	良性腫瘍、悪性腫瘍
唾液腺疾患	唾石症、唾液腺炎、唾液腺腫瘍
神経性疾患	顔面神経麻痺、三叉神経痛
血液疾患と 出血性素因疾患	血友病、白血病

平成 22 年に安井医師が当院に赴任し、歯科口腔外科医師も増えたことにより、以前よりも口腔外科領域の診療に広く対応できるようになりました。当科が得意としているのが、口腔内や顎骨内の腫瘍もしくは嚢胞、埋伏智歯の抜歯を代表とする一般歯科医院では困難な外科処置、顎骨骨折や外傷の手術です。特に顎顔面領域の外傷は早期機能回復・社会復帰を目指し受傷後早期の手術を行っております。他に、唾液腺にできる石（唾石）の摘出、難治性の口内炎や口腔乾燥症などの口の中のトラブル、骨粗鬆症・癌に対する治療としてビスホスホネート薬を使用されている方、血液をサラサラにする抗凝固薬を内服している方などの、いわゆる有病者の治療も行っております。さらに歯科治療に対する恐怖心の強い方や嘔吐反射の強い方などの患者様がリラックスして治療を受けられるように、静脈内鎮静下での治療も行っております。

また当科では、昨年より育成医療及び更生医療の障害者自立支援法に基づく「口腔に関する医療に係わる指定」を受けました。下顎が前に出ていて大きい方や下顎が小さい方（顎変形症）へ顎矯正手術に保険診療が適応



(術前)



(術後)

写真 1 顎変形症の手術  
(下顎を後ろに下げている。)

され、実施可能な施設基準を得ています。具体的には、歯列矯正治療のみでは改善できない上下顎の骨格的なずれのある方に対して（顎変形症）は、外科矯正手術を行い、上下顎のずれを改善します。地域の矯正開業医の先生と連携して外科的矯正手術のみを行います（写真 1）。

インプラント（人工歯根）治療は、骨移植による顎堤形成、サイナスリフトなど骨増生手術も行っています。欠損歯部の咬合および咀

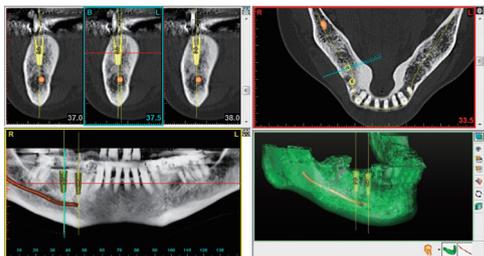


写真2 CT撮影したものを特別な解析ソフトを用いて分析  
顎骨の質と量の評価⇒インプラント可能か診断

嚙機能の回復を、チタン性の人工歯根により図る治療です。4月からの保険改定にて、広範囲な外傷や口腔癌の術後は保険適応となりました。しかし、それ以外は保険適用されていないため、自費診療となります。歯牙喪失の原因として歯周病、う歯、外傷など様々な要因が考えられますが、インプラントを長期的に維持するためには天然歯以上に管理や口腔ケアが重要となります。当科では、患者様自身が口腔衛生状態の自己管理ができるようになるため

の、歯科衛生士による特別プログラムを組んでおります。インプラント手術前には、全身的な身体要件を満たしているか、血液検査、心電図検査を実施し、インプラント埋入の適応についてご理解をいただいた上でCTを用いて顎骨の質と量を評価いたします(写真2)。また、当院では、インプラント埋入を前提としたCT画像検査も受け付けており、地域の歯科医院の先生方に当院のCTをご利用頂いております。

今年度より歯科衛生士が1人増え、5人となりました。総合病院の歯科衛生士として、今までよりも活動の幅を広げ、院内の栄養サポートチーム(NST)の口腔ケアチームとして、化学療法・外科手術の周術期における口腔内のトラブルを予防し、患者様の早期離床の手助けになるよう努めたいと考えております。さらに摂食嚥下チームの中の一員としても活動する予定です。

今後の当院歯科口腔外科は口腔顎顔面領域の様々な疾患の治療と、病院歯科口腔外科の特色を活かした外科処置・有病者歯科治療に力を入れ、医院・診療所の先生方とより密に連携した後方支援医療を担当したいと考えています。また、歯科口腔外科で扱う疾患は意外に広く、内科・耳鼻咽喉科・形成外科・皮膚科などとオーバーラップしております。院内の他科と協力し、チームアプローチで患者様の診察・治療を行うよう努めております。

色々を書きましたが、一回ではなかなか伝えきれません。今後、定期的に歯科口腔外科の細かな疾患やトピックスについてご報告したいと考えております。もし口腔顎顔面領域で心配なこと、トラブルがありましたら、お気軽にご相談ください。スタッフ一同笑顔でお待ちしております(写真3)。

(※かかりつけがある方は紹介状があると助かります。歯科口腔外科は、基本的には予約制となっておりますが、救急搬送される患者様もいらっしゃいます。その時は、患者様に、少しお待ちいただく事をご理解頂いております。)



写真3 歯科・歯科口腔外科の職員(歯科衛生士1人育休中)

# 新任医師紹介

①出身大学・卒業年度 ②診療担当科・役職 ③資格等 ④趣味



**長山 裕之**  
(ながやま ひろゆき)

腹腔鏡というテレビカメラを使って創の小さな手術をする様、心がけております。よろしくお願ひ致します。

- ① 昭和大学 平成3年卒業
- ② 消化器科部長
- ③ 日本外科学会 指導医  
日本消化器外科学会 指導医  
日本消化器内視鏡学会 指導医  
日本内視鏡外科学会 技術認定医  
日本消化器病学会 専門医  
日本がん治療認定医機構 暫定教育医  
医学博士
- ④ 英会話、読書



**道端 浩三郎**  
(みちはた こうざぶろう)

地域の皆様の健康に微力ながら貢献しつつ、よき成長の年にしたいと思ひます。よろしくお願ひします。

- ① 昭和大学 平成21年卒業
- ② 消化器科医員
- ④ お酒、テレビ



カフェインとの飲み合わせに気をつけましょう。

## お薬の情報

### 薬と食品の飲み合わせ カフェインについて

下記の薬はカフェインと一緒に服用すると、様々な影響が出る場合があります。飲み合わせに気をつけましょう。(成分は同じでも、薬の名前が違うことがあります。医師、または薬剤師にご相談ください。)

薬の種類	代表的な薬(当院採用薬)	具体的な影響
抗うつ・抗不安薬 抗菌薬	デプロメール シプロキササン	カフェインの分解が抑えられ、イライラしたり、不眠になったりすることがあります。
抗てんかん薬 睡眠薬 気管支拡張薬 抗血栓薬 抗血栓薬・解熱鎮痛薬	リボトリール アモバン テオドール テオフィリン バイアスピリン バファリン配合錠	薬の効き方が強くなってしまうことがあります。

# 2012年7月～12月 丸山記念総合病院 <<休診日カレンダー>>

- 休診日：毎週水曜日、毎月第一日曜日、祝日 ■赤字は休診日です。■振替休日は診療いたします。
- お盆の時期と年末につきましては、当カレンダーをご参照ください。
- 当院ホームページ <http://www.maruyama-hp.or.jp/>にも掲載しております。

## 7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

## 8月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

## 9月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

## 10月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

## 11月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

## 12月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					



## ごまめに水分補給を

### ●一日に必要な水分量はどのくらいでしょう？

人間の身体は、水分のバランスを一定に保っています。一日に摂っている水分と、身体から出ている水分の量を表わしました。

#### 一日の水分摂取量 (ml/日)

飲料水	500～1500
食物中の水	800～1000
体内での代謝水	250～300
合計	1550～2800

#### 一日の水分排出量 (ml/日)

尿	500～1600
便	150～200
生理的に失われる水分	900～1000
合計	1550～2800

(上記の数値は文献により異なる場合があります)

身体の水分を一定に保つためには、飲料水として一日500～1500ml必要になります。

**汗を多くかきやすい時期は、一日1500mlより多く摂る必要があります。**

(腎臓や心臓に異常がある方は、上記と異なる場合がありますので医師の指示に従いましょう)

### ●どのようにして摂ったらいいでしょう？

一度にたくさん飲んでしまうと、喉の渇きは癒されますが、過剰の水が胃に負担をかけ、消化不良を起こし疲れやすくなります。

一回200ml(コップ一杯程度)を8回摂ると一日約1600mlの水分が補給できます。

たとえば、朝起きた時・午前10時・午後3時・一日3回食事の時・入浴前・入浴後・寝る前など…

水分として摂るのは、水かお茶(カフェインの少ない麦茶など)がおすすめです。清涼飲料水には、糖分の含まれたものもたくさんあるので摂りすぎに注意しましょう。



管理栄養士 塚田

広報誌“お元気ですか”第13号 平成24年7月 丸山記念総合病院 広報委員会

◆さいたま市岩槻区本町2-10-5 ◆TEL048-757-3511 ◆FAX048-756-6061 ◆URL <http://www.maruyama-hp.or.jp/>

皆様の健康をお預かりする、地域に愛される丸山記念総合病院であるために職員一丸となって、努力いたします。この広報誌へのご意見、ご感想等をお待ちしております。 広報委員会

医療法人 慈正会

# 丸山記念総合病院

日本医療機能評価機構認定病院

